

JPVA 第17回拡大会議

AI活用テーマに講演

(二社)日本パブリックビューイング協会(JPVA、神保成章代表理事)の「第17回拡大会議」が、11月7日午後3時10分から東京・内幸町の日比谷国際ビルコンファレンススクエアで開催。業界関係者約130人が出席した。写真。

拡大会議は、福村知之事務局長の司会で進行。冒頭、神保代表理事は「孟夏だった今年も、306人の方が熱中症でお亡くなりになって

いる。当協会では7、8月に、会員21媒体に協力いただいて熱中症警戒アラートを放映することができた。環境省からも感謝されており、当協会が早くから熱中症対策を進めてきたことの一つの成果だと思ふ」と挨拶。

続いて、9月に発足した(一社)日本

OOHメジヤメント協会の今後の活動について、(株)NKBの波多野友美氏(マーケティング・ソリューション本部マーケティング部長)が発表。福村事務局長はメジヤメントデータの説明を行った。

また、dentist Japan



の並河進氏(グロースオフィサー エグゼクティブ・クリエティブディレクター 主席 AI マスター)が、「大型ビジョンにおけるAI活用の可能性」をテーマに、講演した。

拡大会議終了後、5時から懇親会がスタート。星野睦郎会長による開会挨拶、佐藤ゆかり・(株)フューチャーアナリティクス代表取締役社長(元衆議院議員)の来賓挨拶、阿部慎也・(株)セイビ堂代表取締役 CEO の入会(賛助会員) 挨拶に続き、大塚淳弘理事の乾杯で開宴。和やかな歓談が続く中、星野二朗理事の中締めで6時半に閉会した。